

平成19年度 上作延こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	上作延こども文化センターの管理運営に関すること 上作延小学校・南原小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	児童、未就学児、保護者、中高生、地域住民のニーズをこども会議・アンケート・運営協議会等で把握しこども文化センターの管理運営に反映するよう努めた。わくわくプラザにおいては、こども会議や保護者懇談会を定期的に行い、こどもや保護者の声に反映するよう務めた。また、意見箱を設置した。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	こどものニーズに応えた行事を企画し、実施した。遊戯室を乳幼児ルームとして使用できるよう、室内の環境を整え提供した。地域と運営協議会の協力を得て行事を企画し、運営する。情報サービスとしてホームページを毎月更新した。地域のサークル活動の拠点として、場所を提供した。明るく清潔で、気持ち良く利用していただけるよう、館内清掃、外の清掃の強化を行った。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。

事業の実施に関する こと	運営協議会と共に「こ文まつり」を開催し、283人の参加を得た。また、「もちつき大会」も開催し、156人の参加を得た。運営協議会の協力による畑作業に関しては、こども達より畑のネーミングを募集し「ふれ・ハピ」に決定。一緒に耕作したり、収穫作業をしたりする場面もあった。ジャガイモ掘りでは、地域の親子37名の参加を得た。その他、すいか、なす、チンゲン菜、ほうれん草、トマト、きゅうり等収穫の度に、運営協議会の協力により色々な料理を作り、こども達、地域の方々に提供することが出来た。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後、ボランティアの活用に努めること。
個人情報取扱に関する こと	入館状況調査表・団体利用申請書・市民利用PC申請書等について、利用目的の範囲内で取り扱い安全管理の措置を行った。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	毎日「閉館時チェック表」により、44項目のチェックを入れ安全管理を行っている。毎朝、館内・館外の見回り、固定遊具の点検を行い、夜の6時から9時の間は30分おきに館外の見回りを行っている。職員・臨時職員対象に講師を招き、「不審者侵入防止研修」の開催、また、わくわくプラザにおいてはこども達対象に「誘拐防止教室」を開催し、安全管理の意識向上に努めた。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、上作延小学校・南原小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 24,279人 延べ団体利用数 5,787団体 (主な行事等) スーパードッジボール大会 こ文まつり (特色のある行事) ピエロショー (わくわくプラザ合同行事)	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 上作延小学校わくわくプラザ 登録者数 235人 延べ利用者数 13,538人 (主な行事等) 皆で決めた皆の行事 七夕かざり (特色のある行事) フェナキスティスコープ 2 南原小学校わくわくプラザ 登録者数 141人 延べ利用者数 7,094人 (主な行事等) だがしやさん ハーモニカ演奏 (特色のある行事) 南京玉簾	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>45,245,470</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>36,018,570</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>3,101,374</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>44,079,778</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>1,165,692</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	45,245,470	支出	人件費	36,018,570		管理費	3,101,374		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	44,079,778		差引	1,165,692	事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。
収入	指定管理料	45,245,470																														
支出	人件費	36,018,570																														
	管理費	3,101,374																														
	事務経費	1,937,847																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	44,079,778																														
	差引	1,165,692																														

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。